

《よこしん》景気動向調査結果について  
—平成24年1～3月期実績、4～6月期予想—

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

記

【業況判断DI】

業況DIは3期連続でマイナス幅が縮小

来期は全業種で改善の見込み

- 今期（平成24年1～3月期）の業況判断DIは $\Delta 19.0$ と、前期比 $2.1$ ポイント上昇したが、回復のペースは鈍化している。来期は $\Delta 15.6$ と、今期より $3.4$ ポイント上昇を見込んでいます。
- 製造業の今期業況判断DIは前期比横ばいの $\Delta 13.8$ となった。金属製品・その他、プラスチック製品などで改善した一方で、金属プレス・メッキ、輸送用機械器具などで悪化するなど業況は業種ごとで傾向が分かれた。製造業の来期業況判断DIは $\Delta 12.1$ と、今期より $1.7$ ポイント上昇する見込みである。
- 非製造業の今期業況判断DIは前期比 $3.3$ ポイント上昇の $\Delta 21.5$ となった。小売業、不動産業はマイナス幅が縮小したが、建設業などは悪化した。非製造業の来期業況判断DIは $\Delta 17.4$ と、今期より $4.1$ ポイント上昇する見込みである。

【特別調査】 東日本大震災から1年を経た中小企業経営

- 東日本大震災の影響として、最も大きかった事象は「物流の遅延・停止」
- 平成23年度の年間売上は、前年度比「5%以上10%未満減少」との回答が最多
- 東日本大震災後の経営施策は「特にない」、「販売・生産体制の見直し」との回答が多数
- 事業継続計画（BCP）の未策定先は89.1%と多数
- 被災地復興支援に必要なことは「被災企業の経営支援」への回答が最多

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）774先      有効回答数：745先  
調査方法：各営業店職員による聞き取り調査      調査時期：平成24年3月上旬

その他詳細につきましては、別添の「《よこしん》景況レポート」をご覧ください。

以 上

